

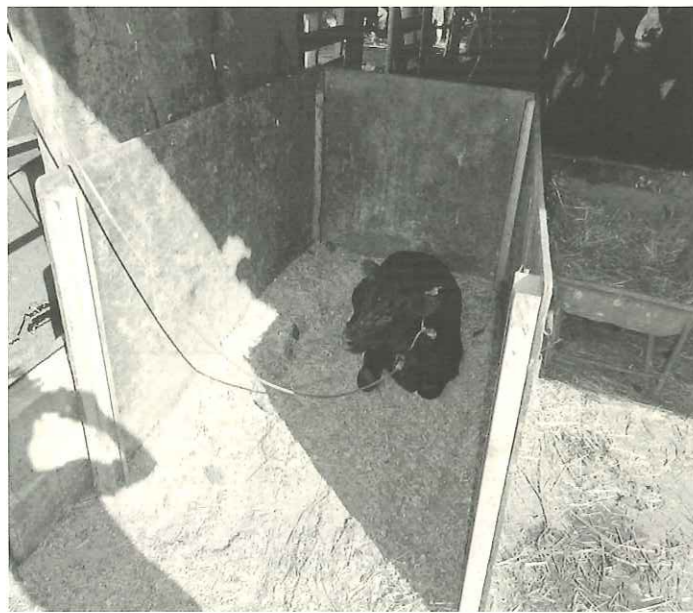
あいであ & アイデア

コンパネで組み立て式カウハッチ 清潔・快適な子牛の居住空間へ

NOSAI千葉 西部家畜診療所 松浦 優

はじめに

千葉市緑区で搾乳牛37頭を飼養する酪農家・大塚利雄さん(54歳)は、「大切な子牛の健康のために、清潔・快適な個別の居住空間をつくってあげたい」という思いから、子牛用の簡便で経済的な組み立て式カウハッチを考案して、活用しています。



組み立て式カウハッチのポイント

- ・組み立て、分解が容易
- ・洗浄・消毒が容易
- ・低コスト
コンパネ3~4枚
(180cm×90cm 780円/枚程度)
C型鋼(ミルクレールの余り等の流用可)
ボルト(C型鋼とコンパネの接合)
- ・保管に場所をとらない

活用の留意点

- ・暑くならないように、通常のカウハッチよりも大きめにします。
- ・子牛の熱中症に注意し、夏場は前面をつけない、ネットにする等の工夫が必要です。
- ・前面を付けない場合は、子牛に押されて開いてしまうことがあるので、柱等へ子牛を係留する等の注意を要します。
- ・ハッチの枠(C型鋼)は、錆ないようにアルミやステンレス素材が望ましいです。

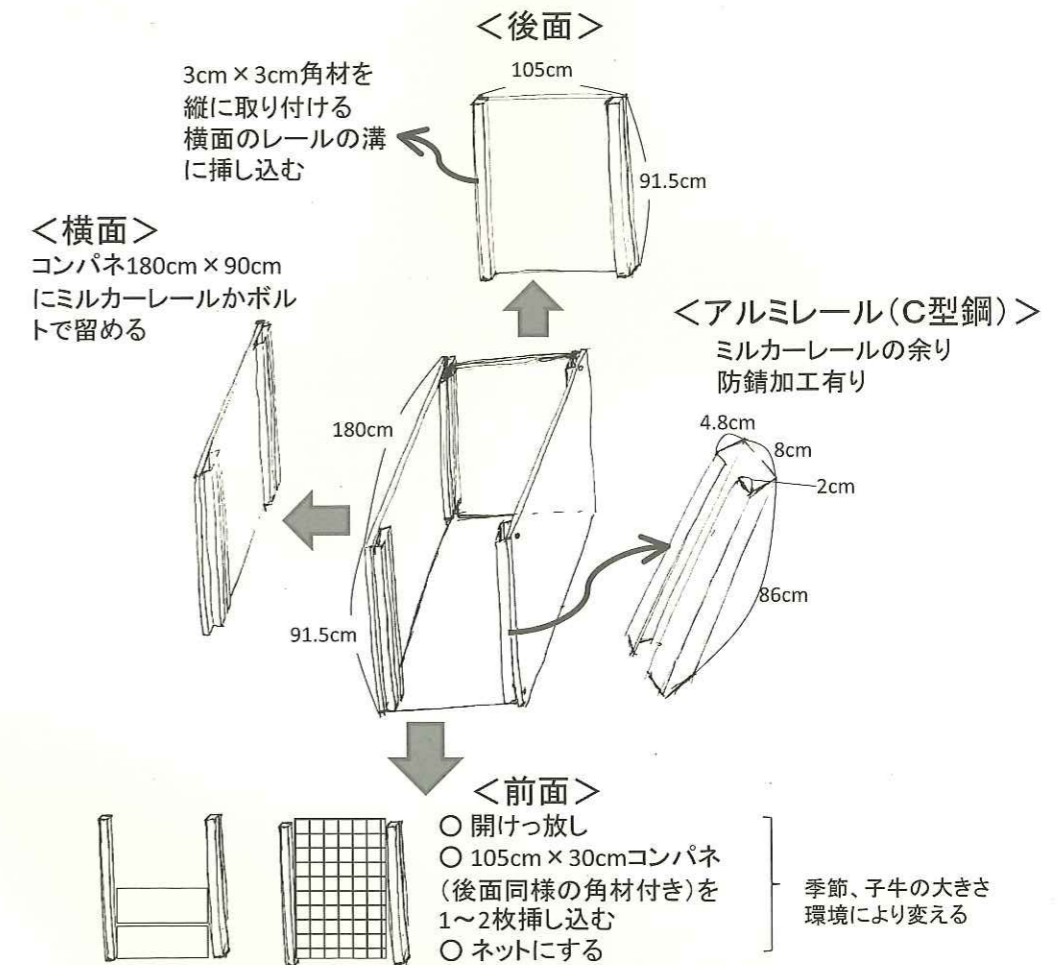
組み立ての概要

材料は、コンパネとアルミレール(C型鋼)だけです。ミルクレールの余り等も利用可能です。まず、アルミレールを取り付けたコンパネを左右の壁として立てます。そこに、前後のコンパネをスライドさせて組み立てると、ハッチが出来上がります。

また、スライドして入れるコンパネの数を変えるだけで、子牛の大きさに合った高さに調節することが可能です。

組み立てが容易なので、子牛が快適に過ごせる場所を選び、好きな所にハッチを据え付けることができます。また、子牛同士の接触を避けるために、ハッチを離して設置することも簡単です。

手軽に分解できるため、ハッチを撤去した後の掃除・消毒も容易です。寒い時期は、ふたをすることで隙間風も防ぎ、保温性も確保できます。



あいであ & アイデア